

令和6年度事業計画（案）

令和6年度の政府の経済財政運営の基本的態度は、社会課題の解決に向けた取組自体を成長のエンジンに変えることによって、民間需要主導の持続的な成長とデフレからの脱却となる「成長と分配の好循環」の実現を目指すとしている。しかし、現状は実質賃金が前年比-2.5%となっており、ますます趣味や娯楽への消費が少なくなる懸念がある。

遊技業界は昨年より「KIBUN PACHIPACHI委員会」を中心とした業界の広報活動を行っているほか、依存対策に係る各種取り組みの適切な実施を進めている。また、ホール関連団体では広告宣伝の健全化に向け、2月に新たなガイドライン等の指針となる資料を発出するなど、断続的な協議を行ったり、警察庁からの要請を受け、遊技産業の申請・届出資料の簡素化や斉一化を検討したりしている。

当協議会は、これまで「業界を取り巻く環境の整備」と「現行風営適正化法の問題点の調査研究」を二本柱として活動してきた。遊技業界が長らく低迷し深刻な曲がり角に立たされていることもあり、今年度も会是にある理念の実現に向けて積極的に発信し、風営適正化法では対応できない問題点について研究を行い、提言を行っていくものとする。

具体的には5年ぶりとなる風営適正化法令におけるパチンコ営業運用上のQ&A(八訂版)を刊行するとともに、業法第19次試案を会内での周知・勉強の促進だけでなく他団体との協議ができるような体制づくりを構築する。そのうえで、ホール・メーカー等の垣根を超えて組織される当会の強みを活かし、我が国固有の娯楽産業であるパチンコ産業のために業界の総意結束を図り、諸課題に挑んでいく。

同様に今年6月に構築される遊技産業のパーパスを通し、社会的意義の理解や認識を共有していく。その他、創立以来取り組んでいる健全営業の推進及び社会貢献活動に引き続き尽力していく。

今年度の会合においても会場とオンラインのハイブリッド開催とし、より多くの会員が参画しやすいシステム構築や、ホームページ・会員ホームページの更新やプレゼンテーションを通し、更なる情報の発信や共有を図っていく。

会是

『業界の環境を整備し業法の制定を図る』

今年度の重点目標

『遊技業界の将来展望を拓くために積極的な政策提言活動を行う』

具体的な行動目標

1. 業法制定に向けて内外の啓発活動を行う
2. 遊技環境の在り方を研究調査する
3. 地域社会と共生する遊技場の在り方を研究調査する
4. 会是に賛同する会員の増員に努め、組織基盤の強化充実を図る

行動内容

1. 理事会は8月を除く年11回開催する
2. 定例部会を8月と12月を除く年10回開催する
3. 11月に秋季セミナーを開催する
4. 特別部会を開催し、現行法運用上の諸問題を研究調査する
5. 多様性のある遊技環境の構築に向けた活動を実施する
6. 行政及び関係団体等との情報交換や交流を推進する
7. 「窮状に対する打開策としての提案について」の成案化を進める
8. 「風営適正化法令におけるパチンコ営業運用上のQ&A」を改定する
9. 「全国パチンコ店舗避難所ガイド」の店舗登録の拡大に努める
10. 会員HPの利活用を推進し、更なる会員への情報共有・公開を図る

以 上